

## 教員プロフィール

|   |  |  |
|---|--|--|
|  | 保育科 講師<br><br>荻原千史 (おぎはら ちふみ)<br><br>Ogihara Chifumi   |  |
| 所属  | 保 育 科  |  |
| 学位  | 修士 (音楽) (東京音楽大学)   |  |
| 資格・免許   | 中学校専修免許状 (音楽)・高等学校専修免許状 (音楽)   |  |
| 学歴・職歴   | 東京音楽大学音楽学部音楽学科器楽専攻 卒業<br>東京音楽大学大学院音楽研究科器楽専攻鍵盤楽器研究領域修士課程 修了<br>修士 (音楽)  |  |
| 担当科目  | 音楽 音楽Ⅱ 基礎演習 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ<br>社会人基礎力育成講座Ⅰ 社会人基礎力育成講座Ⅱ   |  |
| 専門分野  | 音楽表現   |  |
| 現在の研究テーマ  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者養成の実習におけるピアノ技能に関する調査</li> <li>・保育者養成校における音楽理論学習の項目別理解度</li> </ul>                   |  |
| 競争的資金等の研究課題   | なし   |  |
| 所属学会  | 日本音楽教育学会、日本ダルクローズ音楽教育学会  |  |
| メッセージ   | 音楽は子どもたちが自己表現できる一つの手段です。一人ひとりの音楽の中に、言葉では表現できない子どもたちからのメッセージが隠れているかもしれません。学生の間には様々なことにチャレンジして、子どもたちの可能性を広げられる素敵な先生をお互いに目指しましょう。 |  |
| <b>教育</b>   |  |  |
| 2020年4月～2021年3月   |  |  |
| 教育方針  | 学生が大学生活の中で、学ぶことの面白さを味わえるようサポートしていきたい。また、子どもたちが豊かな体験のできる環境づくりを行える保育者養成を目指したい。   |  |
| 授業  | 授業の工夫  | <音楽><br>オンライン授業の前期は、ソルフェージュの授業においては毎回 PP 資料、音声付きの PP 資料、練習問題を提供した。また、授業時間中は Webclass のチャットを用いて質問コーナーを設け、授業外はメッセージを用いて質問・相談に対応した。実技の授業(代替)に関しては、演奏を録音したファイルを提出してもらい、楽譜を見ながら録音内容を確認し、一人一人にアドバイスのコメントを送った。また、前期実技試験を実施しない代わりに演奏動画を提出してもらい、同じく一人一人にコメントした。<br><br>対面授業の後期は、必要な知識を効率よく習得できるよう、独自に作成した資料にて講義を進めた。歌唱活動にあまり取り組めない分、リズム活動に力を入れ、実践的な内容も積極的に取り入れるよう努めた。 |

| 教育 (つづき)              |                          |  |
|-----------------------|--------------------------|--|
| 2020年4月～2021年3月 (つづき) |                          |  |
| 授業                    | 授業の工夫<br>(つづき)           | <p>&lt;音楽Ⅱ&gt;</p> <p>オンライン授業の前期は、毎回PP資料、練習問題を提供し、音楽理論を進めた。また、授業時間中はWebclassのチャットを用いて質問コーナーを設け、授業外はメッセージを用いて質問・相談に対応した。実技の授業に関しては、演奏を録音したファイルを提出させ、一人一人にアドバイスのコメントを送った。また、前期実技試験を実施しない代わりに演奏動画を提出させ、一人一人にアドバイスした。</p> <p>対面授業の後期は、独自に作成した資料にて講義を行った。実技においては、一人一人の状況に応じた指導ができるよう、講義毎に学生の進捗状況の記録を取りながら個別指導を中心に行った。</p>   |
|                       | 授業改善のための取組               | <p>&lt;音楽&gt;</p> <p>前年度の「授業評価アンケート」をよく見直し、特に到達目標の低かったものについて、授業内容の見直しや改善を図った。また、学生の理解度を把握するため、單元ごとに習得状況の聞き取りを実施した。それに応じて、講義の始めに前回の復習を行ってから新しい学習に進むようにし、学習の定着率が高まるように努めた。さらに、多くの学生が苦手とするリズムに関しては、実践的な学習方法を取り入れ、苦手の克服に取り組んだ。</p> <p>&lt;音楽Ⅱ&gt;</p> <p>音楽と同様に、前年度の「授業評価アンケート」をよく見直し、特に到達目標の低かったものについて、授業内容の見直しや改善を図った。また、講義の始めに前回の復習を行ってから新しい学習を進め、理解度が高まるように努めた。さらに、実習後に聞き取り調査を実施し、学生</p> |
| ゼミ                    | ゼミ活動<br>(卒業演習)<br>(修了研究) | <p>&lt;卒業演習Ⅰ&gt;</p> <p>図書館や新聞等のデータベースを多く利用し、卒業レポート作成に向けて、文献に親しむ機会をたくさん設けた。</p> <p>&lt;卒業演習Ⅱ&gt;</p> <p>個人またはグループで関心のある研究テーマを設定し、卒業レポートの作成に取り組んだ。ゼミ内発表会ではゼミ生がPPによるプレゼンを行った。</p> <p>&lt;修了研究&gt;</p> <p>担当なし</p>  |

| 教育 (つづき)   |  |   |
|--|--|---|
| 2020年4月～2021年3月 (つづき)                                    |  |   |
| ゼミ (つづき)   | 卒業レポート・<br>修了研究テーマ   | <p>&lt;卒業レポートテーマ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに人気のキャラクターの特徴</li> <li>・発達段階と音楽の関わりについての考察</li> <li>・気持ちの伝達における音楽活用の現状調査<br/>ー同世代へのアンケート調査からー</li> <li>・学校における音楽教育の課題</li> <li>・東京ディズニーランドと東京ディズニーシーの比較研究</li> <li>・ユニバーサルデザインの現状調査と音楽表現活動の提案</li> <li>・幼少期の習い事と成人時の性格の関連について<br/>ーBig Five 尺度を用いてー</li> <li>・外国生まれの子どもの歌について<br/>ー原詩と日本語の歌詞を比べてー</li> <li>・子どもの成長と音楽あそびの関わり<br/>ー社会人基礎力に着目してー</li> <li>・勉強の効率を上げる音楽について<br/>ー中学生の数学の計算問題における調査からー</li> </ul> |
| 課外活動   | なし   |   |
| 2020年3月以前  |  |   |
| 主な教育業績   | <p>&lt;2019年度&gt;<br/>卒業演習で、ゼミ生が「子どもたちと楽しむ影絵と音楽」の実践を行い、県内3つの保育施設・障害児施設で発表した。この活動は、山梨学院学生チャレンジ制度に採択された。</p> |   |
| 研究   |  |   |
| 2020年4月～2021年3月  |  |   |
| タイトル (単著・共著)   | 年月日  | 発行所、発表雑誌、発表学会等  |
| (芸術発表)<br>「八王子市芸術文化会館ロビーコンサート」(演奏及び解説) (単独)              | 2021年3月27日   | (公財) 八王子市学園都市文化ふれあい財団主催   |
| (芸術発表)<br>「山梨県立美術館ロビーコンサート」(演奏及び解説) (単独)                 | 2021年3月14日   | 山梨県立美術館主催   |
| 2020年3月以前 (主なもの)   |  |   |
| タイトル (単著・共著)   | 年月日  | 発行所、発表雑誌、発表学会等  |
| (学術論文)<br>「幼稚園生活における子どもの表現ーごっこ遊びにみられる音楽に関する表現に着目してー」(単著) | 2020年3月  | 山梨学院短期大学紀要 第40巻   |

| 研究 (つづき)   |                                      |                 |
|--|--------------------------------------|-----------------|
| 2020年3月以前 (主なもの) (つづき)   |                                      |                 |
| タイトル (単著・共著)   | 年月日                                  | 発行所、発表雑誌、発表学会等  |
| (芸術発表)<br>「デュオリサイタル・ピアノとヴァイオリンの対話」(演奏及び解説) (共同)  | 2019年11月2日                           | meets music 主催  |
| (芸術発表)<br>「デュオリサイタル・ロマンス」(演奏及び解説) (共同)   | 2018年9月17日<br>(東京)<br>10月21日<br>(山梨) | meets music 主催  |
| (学術論文)<br>保育における音楽教育を通して育つ「聴く力」とは一乳幼児の聴力の発達に着目して<br>— (単著)   | 2018年2月                              | 山梨学院短期大学紀要 第38巻 |
| 社会貢献   |                                      |                 |
| 産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等  |                                      |                 |
| 2020年4月～2021年3月  |                                      |                 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨県立笛吹高等学校 連携事業 講師</li> <li>・山梨ミュージックアカデミー運営スタッフ</li> <li>・南アルプス市内児童合唱団参加イベント伴奏 (アドブレーション・共立・NTT-F 共同事業体主催「ウラシマコタロウものがたり」等)</li> </ul>   |                                      |                 |
| 2020年3月以前 (主なもの)   |                                      |                 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・三富町公民館主催 地域高齢者合唱団 講師 (2013年9月～2017年11月・秋期～冬期)</li> <li>・御坂町公民館主催 地域高齢者合唱団 講師 (2013年9月～2017年11月・秋期)</li> <li>・後屋敷公民館主催 歌の会 講師 (2016～2018年・年1回)</li> <li>・山梨市岩手公民館主催 岩手地区の高齢者及び小学生に向けての演奏 (2018年・2019年)</li> </ul> |                                      |                 |
| 受賞 ※個人、所属団体  |                                      |                 |
| なし   |                                      |                 |